

# 大学院生の生活

全院協アンケートから

コロナ禍の2年間に収入減となった人が41・9%、継続的な収入悪化は20・2%となりました。アルバイト先の休業や解雇が影響しています。

休業手当が支払われたか、代替措置が講じられたのは32・9%にとどまり、学外のアルバイトでは40・0%が休業手当を支払われていませんでした。

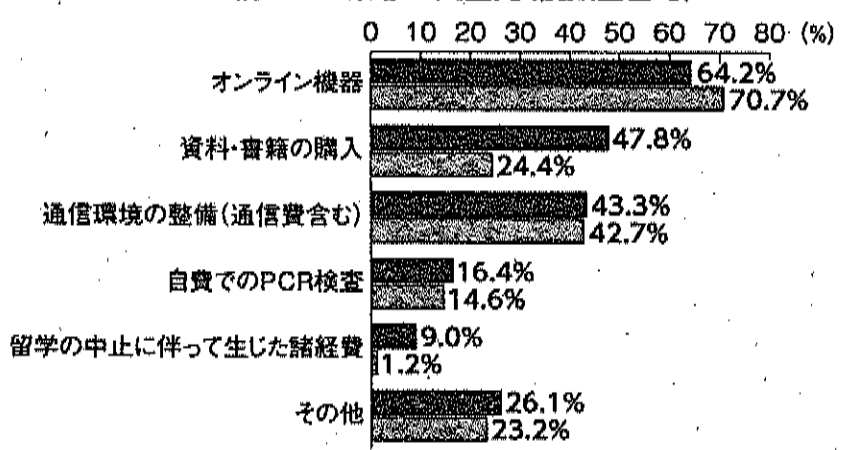
## 休業手当払われず4割

文科科学省の半生支援緊急給付金の申請は20・2%、日本学生支援機構の緊急・応急採用奨学金への申請は3・9%。申請しなかった理由は「採用基準に合わず、採用されないと思った」「借金になる」がそれぞれ半数でした。

35・6%がコロナ禍で緊急の支出が発生したと回答。うち半数近くが「5万円以上の支出があった」と答え、支出先は、オンライン機器や通信環境の整備が高率となりました。(グラフ)

(随時掲載)

コロナ禍による緊急の支出先(複数回答可)



■人文科学系・社会科学系(上)    □それ以外の学系(下)

全国大学院生協議会「2021年度大学院生の研究・生活実態に関するアンケート調査」から